

ふらっふ通信

第25号

社会福祉法人
なつな学園
サービスマスター
ふらっふ
おじさん

五季の国

滝沢 一人

いつに無く暑い日が続いていきます。暦をみればまだ五月！！この間まで鯉のぼりが気持ち良さ気に大空を舞い踊っていたかと・・・これも異常気象なのでしようか？五月の半ばで三十度の夏日です。やつと冬物を仕舞こんでホツとしている間もなく、熱中症とビールを冷やす心配をしなければなりません。暑がりであることでは誰にも負けません！が自慢のオジサンは前途多難と空を見上げております。

水田に水が入り蛙が鳴き出す声に季節の移ろいを感じ（実はうるさくてイライラしてるんですが）、路地の夏の野菜や清流を泳ぐ魚達に夏の訪れを感じる。温度計やカレンダーではなく、毎日の生活の中で四季の移ろいを感じながら過ごすこの国の暮らしを当たり前のしあわせとして受け入れてきました。

それが当たり前で無いよ
うな昨今の気象の変化に不安を感じるなんていうと、オジサンのボヤキと言われ
てしまいそうです。

元来子供や若者は季節の移ろいなんて気にもとめないものです。旬の食べ物に色気を感じるのも年配者の特権ですね。例にもれず若い頃の私の胃袋や舌も季節の味わいなんてなんのその、腹いっぱい食う事が最重用事項でした。

そんな若者に別に戻りたくないな！と感じることがあります。別に負け惜しみではなく、日々の何気ない四季のある暮らしに大いなる楽しみを感じられるようになったのは間違いない。年齢を積み重ねたからかなと感じるからです。四季のある国に産まれた仕合せを強く感じます。

そんなお国自慢があやしくなってきましたと聞きます。まさか乾季と雨季の国にはならないでしょうが、春と秋が駆け足で過ぎ去っていくように感じるこの頃。我が国は五季の国であってほしいと切に願います。五季とはまさしくこれから迎える梅雨を含めた造語です。

梅雨になると憂鬱になる方も多くおられます。実際、我々ヘルパーを

泣かせるのもこの季節です。雨の中、合羽に身を包み元気に出かけていくスタツフに頭が下がります。

そんな時でもお気に入りの長靴とシャレた傘なんかでお出かけすると、案外外出も楽しい時間になります。新緑の美しさは雨露を受けると一層引き立ちます。アジサイの花びらにはやはり雨の雫が似合います。これからの季節、雨で憂鬱になり引っこまないで思い切って飛び出してみましょう。この国に暮らすしあわせがそこかしこに散らばっていると思えます。

予てから建築を進めておりました、ふらっふの新建屋が皆様のご協力のもと、無事完成いたしました。本年2月から転居させていただきました。また、4月からは新しい職員も迎え賑やかにやっております。

3階の私の席から双ヶ丘の木々が雨に濡れて笑っているように見えます。

皆様とゆつくりお話を伺えるスペースも以前よりは確保できたかと思えます。どうぞお気軽に新しいふらっふへお越しください。皆様のお越しをスタツフ一同お待ちしております。

事務所移転のお知らせ

この度今年2月にふらっぶ事務所が移転いたしました。

新事務所は地上3階建てで、1階が放課後等デイサービスのプレイルーム、2階がキッチンとリビング、3階がふらっぶ事務所になっています。新しい事務所への移転に職員一同、気持ち新たにしております。

またお近くにお越しの際は是非遊びに来て頂けたらと思います。

〈住所〉

京都市右京区花園内畑町37

〈アクセス〉

電車ご利用の場合

JR嵯峨野線花園駅下車

(徒歩5分)

京都市営バスご利用の場合
91・93系統花園扇野町下車

(徒歩3分)

8・75系統 黒橋下車

放課後等デイサービス
わかかな開所

平成17年にサービスセンターふらっぶが開所してこの4月で10年目を迎えます。

そんな中、3月3日新たに放課後等デイサービス「わかかな」がオープンしました。

学齢期の障害児童の皆さんの放課後、長期休暇の充実を目指して様々な取り組みを行っていきたくと考えております。療育内容と致しましては学校の宿題・音楽療育や水泳体操などの学習援助、絵画・粘土、工作といったアート創作活動など多岐に亘るサービスを提供していきたいと考えております。

2階部分につきましては、放課後等デイサービスの機能の一部として調理体験やパソコン体験等多目的に利用いただく部分と、ご家族の相談を個別にお聞きするスペースとしての利用を想定しております。今後ともますますのご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



このたび私、柿崎はわかかなに異動することになりました。

私は2年前にかしの木学園からふらっぶへ異動してきたのですが、ふらっぶに来た頃は施設支援との違いに戸惑ってばかりで、ふらっぶのみなさんにはだいぶご迷惑をおかけしました…この場をお借りしてごめんなさい(笑)

この2年間たくさんの利用者さん・保護者さん・ヘルパーさんと出会い、沢山のことを学ばせていただきました。と同時にみなさんと出会えたこと・過ごした日々はとても大切な思い出です。

本当に今までありがとうございました！！
ふらっぶでの経験を生かし、わかかなでも自分らしく笑顔で頑張っていきたいと思っております。

柿崎由佳

私は、ふらっぶが開所した年の10月から約8年5か月お世話になりました。

当時右も左もわからないままに滝沢さん、篠原さんから申し送りを受け、利用者さんのご自宅へ向けて日々ひたすらにバイクを走らせていた記憶があります。

8年余り、この場では表現しきれないたくさんの時間を過ごさせていただきました。大変お世話になりました。ありがとうございます。

これからはわかかなとして障害のある子どもたちが安全に楽しく過ごせる場所をしっかりと作っていくことで、それぞれのご家族の一助になれるように一生懸命やっていきたいと思っております。ふらっぶとは事務所が同じですので、お見かけの折にはお声かけいただけると嬉しいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

中川裕一朗

新入職員紹介

新しくふらっふの職員となりました佐藤佳紀と申します。昨年はなづな学園の職員として、午前中製菓を、午後からは紙工を担当しておりました。

なづな学園の利用者さんはもちろんですが、なづな学園に支援に入られたヘルパーさんのなかには、「女性の多い現場に研さん以外にも男の職員が入ったんやなあ」と思われて記憶されている方もいるのではないのでしょうか。

なづな学園では、なるべくユーモアを持って、体操や帰りの会など笑いを忘れずにおどけて、突っ込みをいれられたりしながら、ゆるやかにやり取りをさせていただいていました。

ふらっふとは利用者さんとの関わり方で異なる部分もあるでしょうが、引き続き、根本の部分ではユーモアを忘れずにゆったりとした雰囲気大事に関わらせて頂きたい、と考えています。

はじめまして。4月よりふらっふの常勤職員となりました、瀧本愛と申します。

学生時代は登録ヘルパーとして活動しておりました。

働き始めて約半月、利用者さんからはたくさん笑顔と元気をわけていただいております、毎日ほんとうに幸せです。その元気をガソリンに、一人ひとりの利用者さんに寄り添う姿勢を磨いていきたいです。

まだまだ経験不足ですが、毎日の積み重ねを大切にして頑張ります。よろしくお願ひいたします。

はじめまして。4月からふらっふで働かせていただくことになりました長畑有紀です。短大で保育を学び、その過程でなづな学園にて実習をさせていただきました。高校生の頃に児童福祉の分野で働きたいと思い保育の道に進んだのですが、実際に学びを深めていく中で福祉の分野にもっと興味を持つようになりました。13日間という短い実習期間の3日目に「あと10日しかないのか…」と寂しい気持ちになり、早い段階でそのような感情を持ったことがなかったので自分でも驚き、同時に、働きたいという気持ちを持っていることに気がきました。分からないことだらけで戸惑う毎日ですが、一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。



復帰報告

第二子を無事出産することができました。

それから約一年半、長きお休み（育児）をいただきまして、2月3日に復職いたしました。下の子は千尋と言います。第二子はこのように感じなのか?!というくらい、少々のことには動じない女の子です。上の子の裕（ゆたか）は、相変わらず母ちゃんっこです（笑）二人子ども抱えての復帰、不安もありますが、皆さんの笑顔に会えると、元気になります。皆さんの笑顔で私も笑顔。そして、その私の笑顔で家族も笑顔になります。笑顔の循環でお仕事を続けていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。 山本 梢



報告

春の日差しが心地よくなってきた今日この頃、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

私、霞末は前年度の三月末を持って結婚を機に退職をさせて頂きました。

地元に戻り、兵庫県の姫路の奥：宍粟市というかなりのどかな町で暮らしています。

ふらっぶでの五年間、大変な事や戸惑う事もありましたが、共に働く職員に支えられながら、多くの利用者さん、保護者さんからたくさん笑顔と暖かい気持ちを頂きました。

その宝物を大切に、新しい人生を歩みたいと思います。

今まで本当にお世話になりました。また京都に遊びに行きます！！

またお会い出来る日を楽しみにしています、皆様お元気でお過ごし下さい☆



霞末 朱里



梅小路公園に懐かしのチンチン電車が運行再開

梅小路公園3月8日、新広場がオープンしました。

広場では明治後期に京都市内で使用されていた路面電車「チンチン電車」の運行しています。

路面電車は、大型遊具やオープンカフェが新設された「すざくゆめ広場」と大正・昭和期の市電の車両を展示している「市電ひろば」を結ぶ形で運行。約230メートルを2分弱で走ります。

路面電車は1日乗車券300円、片道150円で土日祝日の午前10時から午後4時に運行しています。



市バスがもっと便利になります

3月22日(土)京都市市営バスが大きく変わります。

「京都市バス もっと便利に 大改革」のキャッチフレーズのもと、バス車両を大幅に増やし、鉄道のスムーズな乗継や夜間運行の充実など、ますます便利になります。

たとえば

①主要系統の増便

②地下鉄をはじめとする電車との乗継が便利に

③経路の変更や延長

④わかりやすさ向上

市内を南北に走る6つの主要幹線道路に新たに「ラインカラー」を設定します。

詳しくは交通局のホームページをごらんください。



編集後記

新たな年度がはじまりましてひと月が経ちました。

まだまだ涼しい日が続けば嬉しいのですがゴールデンウィーク過ぎた辺りから急に暑い日が増えて来て、汗ばむ日が増えてきました。暑い事の苦手な私にはせめてもう少し涼しくてもいいのではないかとぼやきたくなります。

さてふらっぶは4月から3人の新しい仲間が入りました。新しい職員が入ってくるといつも、自分ももっと頑張らねば！と気が引き締まる思いがします。

今年度も心機一転頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。